

1 令和6年度入院・外来実績

(1) 入院

ア 延入院患者数は 112,848 人となり、前年度実績（108,052 人）と比べて 4,796 人増加しました。

イ 一日平均入院患者数は 309.2 人となり、前年度実績（295.2 人/日）と比べて 13.9 人増加しました。

ウ 患者一人1日あたりの診療単価は 69,346 円となり、前年度実績（69,063 円）と比べて 283 円増加しました。

・以上の結果、入院収益については、患者数の増加及び、入院単価の上昇により、前年度決算額と比べて 3 億 6,300 万円余増加しました。

(2) 外来

ア 延外来患者数は 128,436 人となり、前年度実績（127,455 人）と比べて 981 人増加しました。

イ 外来診療日（243 日/年）一日当たりの平均患者数は、528.5 人となり、前年度実績（524.5 人/日）（243 日/年）と比べて 4.0 人増加しました。

ウ 患者一人1日あたりの診療単価は 23,380 円となり、前年度実績（23,072 円）と比べて 308 円上回りました。

・以上の結果、外来収益については、患者数の増加及び、外来単価の上昇により前年度決算額と比べて、6,200 万円余増加しました。

【入院・外来実績 年度推移】

区 分		令和5年度決算 ①	令和6年度決算 ②	前年度対比	
				②-①	②÷①
入院	延入院患者数（人）	108,052	112,848	4,796	104.4
	本院分	104,114	108,910	4,796	104.6
	救命C分	3,938	3,938	0	100.0
	1日平均入院患者数（人）	295.2	309.2	13.9	104.7
	本院分	284.5	298.4	13.9	104.9
	救命C分	10.8	10.8	0.0	100.3
	病床利用率（許可ベース）（%）	70.7	74.9	4.1	105.9
	本院分	73.3	77.5	4.2	105.7
	救命C分	36.5	38.5	2.1	105.7
	病床利用率（実稼働ベース）（%）	74.6	78.1	3.5	104.7
	本院分	76.5	80.2	3.7	104.9
	救命C分	44.8	45.0	0.1	100.3
外来	入院1日診療単価（円）	69,063	69,346	283	100.4
	入院収益（千円）	7,462,402	7,825,560	363,158	104.9
	平均在院日数（日）	11.8	12.1	0.4	103.1
	延外来患者数（人）	127,455	128,436	981	100.8
	1日平均外来患者数（人）	524.5	528.5	4.0	100.8
	外来1日診療単価（円）	23,072	23,380	308	101.3
	外来収益（千円）	2,940,688	3,002,858	62,170	102.1
紹介率		76.2	76.2	0.0	100.0

2 令和6年度収支実績

(1) 収益的収支（税抜）

ア 収益

- ・収益は129億2,400万円余で前年度の決算額を3億1,300万円余下回りました。
- ・医業収益は、入院患者数の増加及び、入院単価の上昇により、入院収益は78億2,500万円余と前年度の決算額と比べて3億6,300万円余増加しました。また、外来収益は、外来患者数の増加及び、外来単価の上昇により、30億280万円余と前年度と比較して6,200万円余増加しました。
- ・その他営業収益については、新型コロナウイルスに関する空床補償補助金の終了により、5億100万円余の減少となりました。
- ・運営費負担金収益（営業収益）については、本館の償還期間が終了したことから、それに伴う負担金の減少により、前年度の決算額と比べて4億7,700万円余下回りました。
- ・臨時利益については、医療事故発生による保険金収入によるものです。

イ 費用

- ・費用は150億4,200万円余で、前年度と比較して、17億円余増加しています。給与費について、人員増及び三重県人事委員会勧告による本給と賞与引き上げに加え、定年延長による退職給付引当金の増加により、7億5,400万円余増加しました。減価償却費については、放射線治療棟等の減価償却が開始したことから、2億2,400万円余増加しました。
- 経費は、修繕費と報償費の減少により、4,800万円余減少したものの、材料費は、薬品費の増等により前年度と比べて4,500万円余増加しました。

ウ 損益

- ・経常損益は16億6,900万円余の赤字となり、前年度と比較して、15億4,600万円余、収支が悪化しております。純損益も21億1,800万円余の赤字となり、前年度と比較して20億1,300万円余収支が悪化しています。
- 今年度は新型コロナウイルスに関する空床補償補助金が終了（令和5年度：5億700万円余）したこと、また運営費負担金収益の減少（令和5年度：19億500万円余→令和6年度：14億3,700万余）により前年度対比が大きくなっております。
- 臨時損失については、診療報酬返還に伴う引当金計上による増加によるものです。
- 計上赤字となった最も大きな要因は、医業収益は前年度と比較し4億2,500万円余増加したものの、人件費の増加等による費用がそれらを上回り、大幅な赤字となりました。

(2) 資本的収支（税込）

- ・建設改良費は7億100万円余となり、前年度と比較して、17億円余の減額となりました。主な建設改良費としては、非常用発電設備更新（9,030万円余）、ナースコール設備更新（3,900万円余）、エコー一式1台（2,800万円余）、人工呼吸器一式（3台）（2,200万円）等があります。
- ・以上の結果、資本的収支は、4億8,700万円余のマイナスとなりました。

【収益的収支】（税抜）

（単位：千円）

区分	款	項	令和5年度決算 A	令和6年度決算 B	前年度対比 C=B-A
収益	営業収益	医業収益 ①	10, 558, 659	10, 991, 139	432, 480
		うち入院収益	7, 462, 402	7, 825, 560	363, 158
		うち外来収益	2, 940, 688	3, 002, 858	62, 170
		運営負担金収益	1, 905, 360	1, 437, 354	▲ 468, 006
		資産見返負債戻入	62, 779	62, 852	73
		その他営業収益	546, 659	45, 616	▲ 501, 043
		小計 ③	13, 073, 457	12, 536, 961	▲ 536, 496
	営業外収益	運営負担金収益	20, 515	10, 798	▲ 9, 717
		その他営業外収益	126, 131	123, 799	▲ 2, 332
		小計 ④	146, 646	134, 597	▲ 12, 049
臨時利益 ⑦		17, 091	252, 421	235, 330	
計		13, 237, 194	12, 923, 979	▲ 313, 215	
費用	営業費用	医業費用	12, 213, 629	13, 148, 353	934, 724
		給与費	6, 222, 272	6, 939, 923	717, 651
		材料費	3, 001, 559	3, 046, 680	45, 121
		うち薬品費	1, 626, 022	1, 670, 280	44, 258
		うち診療材料費	1, 307, 432	1, 301, 778	▲ 5, 654
		経費	2, 201, 844	2, 153, 818	▲ 48, 026
		減価償却費	742, 760	966, 416	223, 656
		資産減耗費	7, 497	6, 086	▲ 1, 411
		研究研修費	37, 697	35, 429	▲ 2, 268
		一般管理費	552, 437	594, 641	42, 204
		うち給与費	462, 964	499, 922	36, 958
		小計 ②	12, 766, 066	13, 742, 994	976, 928
	営業外費用	財務費用	31, 883	21, 415	▲ 10, 468
		その他営業外費用	544, 545	576, 468	31, 923
		小計 ⑤	576, 428	597, 884	21, 456
	臨時損失 ⑧		0	701, 942	701, 942
	計		13, 342, 494	15, 042, 820	1, 700, 326
【医業損益】 ①－②			▲ 2, 207, 407	▲ 2, 751, 855	▲ 544, 448
【経常損益】 ⑥ (③+④)－(②+⑤)			▲ 122, 391	▲ 1, 669, 320	▲ 1, 546, 929
【純 損 益】 ⑥+⑦－⑧			▲ 105, 300	▲ 2, 118, 841	▲ 2, 013, 541

【資本的収支】（税込）

（単位：千円）

区分	款	項	令和5年度決算 D	令和6年度決算 E	前年度対比 F
収入	資本的 収 入	長期借入金	2,121,000	685,000	▲ 1,436,000
		運営負担金	0	0	0
		その他収入	2,310	8,687	6,377
		小計 ⑨	2,123,310	693,687	▲ 1,429,623
支出	資本的 支 出	建設改良費	2,411,072	701,033	▲ 1,710,039
		償還金	1,209,311	480,447	▲ 728,864
		投資有価証券購入費	394,751	0	▲ 394,751
		小計 ⑩	4,015,134	1,181,480	▲ 2,833,654
収 支 ⑨－⑩			▲ 1,891,824	▲ 487,793	1,404,031

3 経営指標

・令和6年度経営指標の各比率については下記のとおりです。

(単位：％)

	令和5年度実績 a	令和6年度実績 b	前年度対比 b - a
医業収支比率	82.7	80.0	▲ 2.7
経常収支比率	99.1	88.4	▲ 10.7
給与比率（対医業収益）	63.3	67.7	4.4
材料比率（対医業収益）	28.4	27.7	▲ 0.7
経費比率（対医業収益）	21.7	20.4	▲ 1.2
繰入比率（対経常収益）	14.6	11.4	▲ 3.1

$$\text{医業収支比率} = \frac{\text{医業収益}}{\text{営業費用}} = \frac{10,991,138,549}{13,742,941,177} = \boxed{80.0\%}$$

$$\text{経常収支比率} = \frac{\text{経常収益（営業収益＋営業外収益）}}{\text{経常費用（営業費用＋営業外費用）}} = \frac{12,536,960,561 + 134,597,410}{13,742,941,177 + 597,883,633} = \boxed{88.4\%}$$

$$\text{給与比率} = \frac{\text{給与（医業費用分＋一般管理費分）}}{\text{医業収益}} = \frac{6,939,923,498 + 498,835,489}{10,991,138,549} = \boxed{67.7\%}$$

$$\text{材料比率} = \frac{\text{材料費}}{\text{医業収益}} = \frac{3,046,680,085}{10,991,138,549} = \boxed{27.7\%}$$

$$\text{経費比率} = \frac{\text{経費}}{\text{医業収益}} = \frac{2,247,241,249}{10,991,138,549} = \boxed{20.4\%}$$

$$\text{繰入比率} = \frac{\text{運営費負担金}}{\text{経常収益（営業収益＋営業外収益）}} = \frac{1,437,354,000 + 10,798,000}{12,536,960,561 + 134,597,410} = \boxed{11.4\%}$$